

事後評価【番号1】

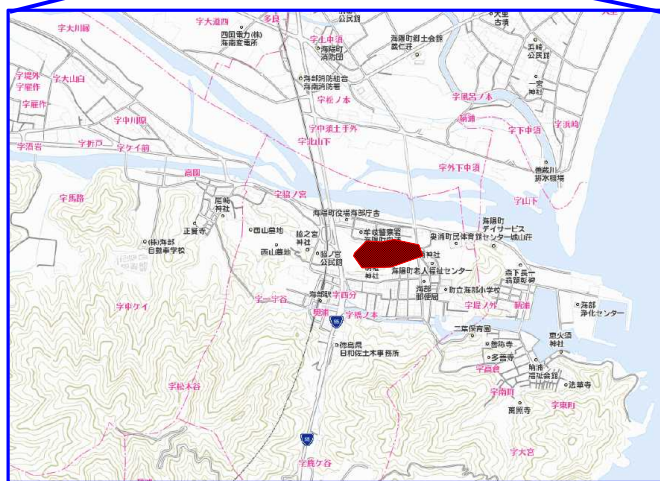
新町  
急傾斜地崩壊対策事業

# 1. 急傾斜地崩壊対策事業の目的

## 事業の目的

当該箇所は、海部郡海陽町奥浦に位置し、がけ高20m、勾配32°の急傾斜地である。保全対象は、人家13戸と地域防災計画に記載された津波避難場所である薬師寺が含まれている。平成24年の台風により崩壊し危険度が高いことから、早急に斜面对策を実施し、人家や公共施設を保全する必要がある。

## 位置図



## 保全対象



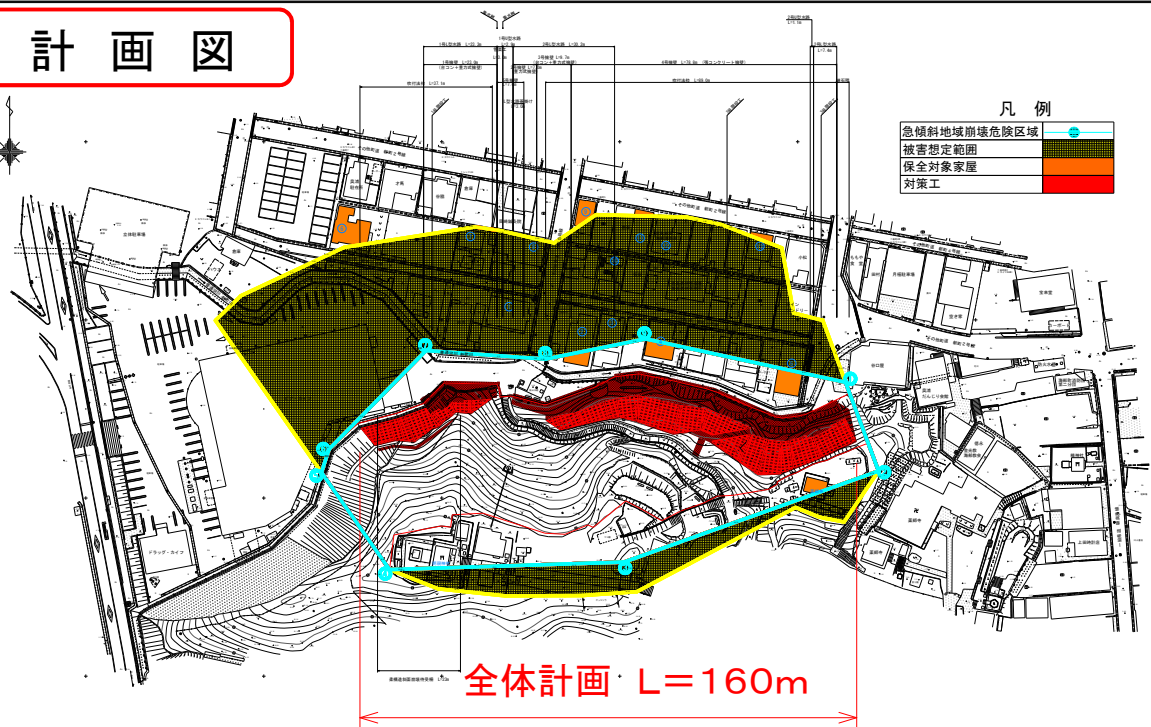
斜面崩壊状況



薬師寺  
(津波避難場所)

## 2. 急傾斜地崩壊対策事業の概要

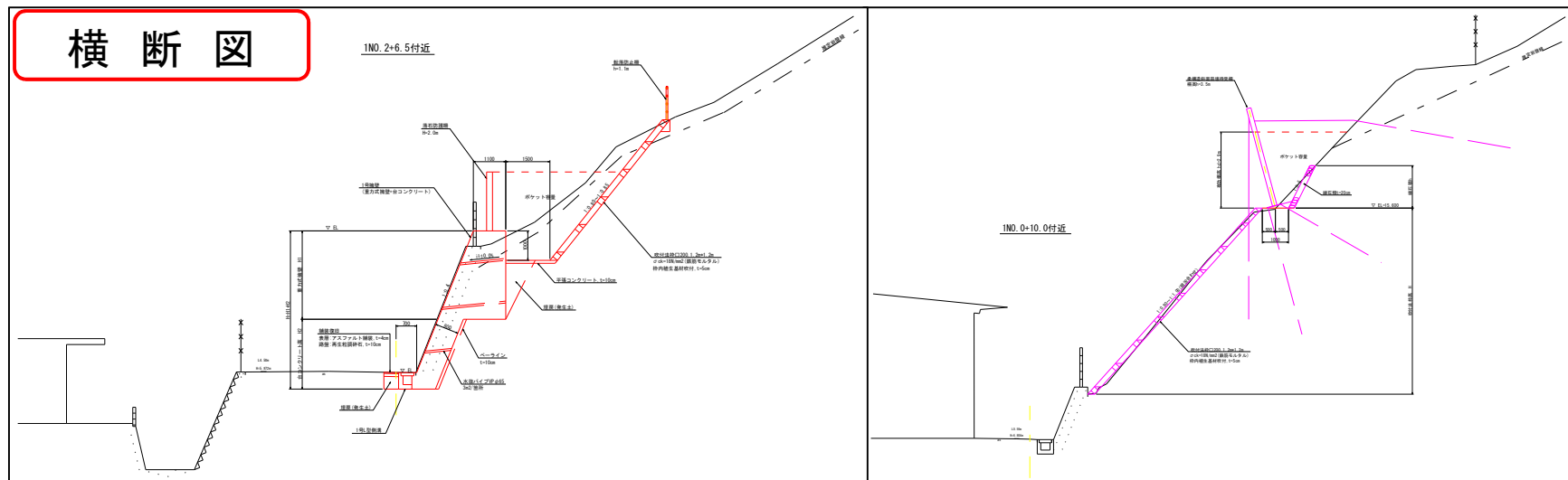
### 計画図



### 工事概要

- ・重力式擁壁工 L=47m
- ・張コン擁壁工 L=78m
- ・柔構造斜面崩壊待受柵 L=23m
- ・吹付法砕工 A=1109m<sup>2</sup>

### 横断図





### 3. 新町急傾斜地崩壊対策事業の効果

#### 整備効果

保全対象

- ・人家: 13戸
- ・薬師寺(津波避難場所)

#### 費用便益分析の算定(B/C)

事業期間: 平成24年度～平成28年度

評価基準年: 平成29年

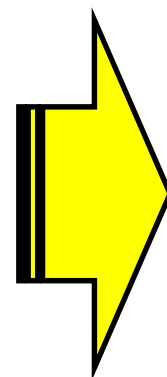
総便益: 838百万円

総費用: 227百万円

$$B/C = 3.7$$



整備前



整備後



# 砂防事業によるストック効果 <急傾斜地崩壊対策事業 新町>

当箇所は南海トラフ巨大地震の津波浸水区域に位置するため、急傾斜地崩壊防止施設の整備と併せ、**管理用道路を津波避難場所への避難路として利用できるよう整備している。**

急傾斜地崩壊防止施設の整備により

- ・重要施設(避難場所)の保全
  - ・津波からの避難体制の強化
- 地域の総合的な防災力向上
- といったストック効果が期待される。



徳島県防災・減災マップ

